

第20期第1回 地域農林経済学会常任理事会議事録

日時：2014年12月20日（土） 15：30～17：30

場所：京都大学農学研究科 生物資源経済学専攻 第一会議室

議長：金子治平

出席者：秋津元輝、足立芳宏、伊庭治彦、宇山満、大石和男、金子治平、北川太一、北野慎一、
佐藤豊信、仙田徹志、竹歳一紀、藤栄剛、藤本高志、増田清敬、増田佳昭（以上15名、五十音順）

- 1 議長に金子治平氏が選出された。
- 2 増田会長より就任の挨拶がなされた。

議事

(1) 新執行体制について

増田会長より会長指名理事および監事について提案があり、その旨承認された。

(理事) 伊藤 淳史、足立 芳宏、大石 和男、北野 慎一、仙田 徹志、竹歳 一紀、増田 清敬

(監事) 桂 明宏、高田 理

これを受けて、第20期常任理事会の執行体制について、以下の通り報告があった。

【新常任理事】(○印は責任者)

会長	増田 佳昭
副会長(学会賞・企画)	宇山 満
副会長(業務改革、組織・広報)	金子 治平

企画 ○秋津 元輝 浦出 俊和、北川 太一

庶務・会計 ○小田 滋晃、伊藤 淳史、仙田 徹志

編集 ○伊庭 治彦、北野 慎一、竹歳 一紀、藤栄 剛、増田 清敬

組織・広報 ○足立 芳宏、大石 和男

監事 桂 明宏、高田 理

(2) 理事会・総会の議事録、および配信資料の確認

仙田庶務・会計担当理事より、2014年度理事会、同総会の議事録について別紙にもとづき報告があり、承認された。また、第8回常任理事会・第4回大会実行委員会については学会Webに登載済みであること、常任理事・理事名簿、規程集は、常任理事MLにて配信済みであることの説明があった。

(3) 年間スケジュールについて

年間スケジュールについて、仙田庶務・会計担当理事より説明があった。第2回常任理事会は2月14日（土）午後2時～、第3回常任理事会・第1回大会実行委員会は4月19日（日）（時間未定）に開催することが承認された。また、研究大会については開催校である鳥取大学から2015年10月31日（土）と11月1日（日）で開催し、10月30日（金）に地域シンポを中国支部大会と共催で実施したい旨の申し出があり、協議の結果、原案通りで了承された。

(4) 2014年度大会の結果について

2014 年度大会の結果について、仙田庶務・会計担当理事、および北川企画担当理事より、資料に基づき報告があった。

(5) 引き継ぎ事項と今後の課題について

①編集担当（伊庭担当理事）

旧担当との引継ぎは終了し、オンラインジャーナル化に向けてスムーズな移行を行い、前期からの引継ぎ事項について順次対処している旨の説明があった。常任編集委員と常任理事の関連規程を改正し、常任理事ではない常任編集委員を増員し、常任編集委員を6名体制とすることが報告された。現在の学会誌への掲載内容と、J-Stage への登載内容との関係については検討中であり、次回常任理事会には編集担当から原案を提示し、選定することが確認された。

②企画（秋津担当理事）

旧担当との引継ぎは終了し、資料に基づき、今後の課題について報告があった。企画担当の増員について提起され、宇山副会長が企画の議論に加わることで、さらに運営上、必要に応じて増員を求めることがあることが述べられた。

③庶務・会計（仙田担当理事）

旧担当との引継ぎは終了し、引継ぎ事項として会員名簿の発行、シニア会員の見直しに基づく会費徴収があり、それも含めた今後の課題として、理事会構成の変更、シニア会員の前払い金の扱い、大会受付業務、さらなるコストカットと成果還元のある方法などがあることが報告された。理事会構成の変更にかかわる関連規程の改正については、たたき台を次回以降の早い時期に常任理事会に提案することになった。

④組織（足立担当理事）

旧担当との引継ぎは終了し、資料に基づき、2名体制での役割分担、今後の課題について報告があった。ニュースレターからメールニュースへの移行に向けたメールアドレスの整備の推進方法、メール配信の業務委託、Web サイト管理のあり方、会員管理システムのあり方について議論を行った。組織担当にて、次回常任理事会までに、現状のメール登録リストの不備について提示し、整備方針を提案してもらうことで了承された。賛助会員については、増田会長より、現在の冊数を口数に置き換えること、口数に応じた会員の権利（個別報告、投稿）も含め、組織担当にて検討することになった。海外メール会員についても廃止し、関連規程を見直すこととなった。また、藤栄常任理事より、入会時や個別報告、投稿時などに利用したメールアドレスをメールニュースへの登録に結びつけることができるよう、関連のシステム、文言の修正が提案され、検討することになった。

⑤全般（佐藤前会長、増田会長）

オンラインジャーナル化と、各課題についての常任理事へのいっそうの協力依頼があった。

(6) 2015 年度大会に向けて

秋津企画担当理事より、次回大会に向けて、講演会、シンポジウム、大会セッションなど、さまざまな選択肢の中で、次回常任理事会までに大会プログラム検討会議を開催し、提案することが述べられた。

(7) その他

北野編集担当理事より、資料に基づき、学会誌の編集状況に関する説明があった。

足立組織担当理事より、資料に基づき、入退会の報告があった。

最後に、宇山副会長より挨拶があり閉会した。

以上